



EDGEな感性が集り、混ざり、溢り出す場所。
フロッシは「交流」と「発信」をコンセプトに、様々な分野と活躍する人物たちと「ゲスト店長」というスタイルで一緒に運営するカフェレストランです。

毎日ハッピーアワー 16:00~19:00
生ビール 630円 → 480円 カクテル 550円 → 400円
ハイボール 550円 → 380円 カクテル 600円 → 450円

フロッシカレッジ

「志者にフロッシが得意料理を一言も、地域に発信してあげませんか? 持ち込み企画もお待ちしています。」

フロッシギャラリー

YOL Cafe Frosch Pop-up Store
フロッシが初めて主催する企画展に、個性豊かな3アーティストの皆さんの作品をディスプレイ形式で出品して貰いました。読者殺しの機会にお好きなアーティストの作品を手に取ってあげませんか?

月	火	水	木	金	土	日
						1 イベント出店の為 終日店休
						2 イベント出店の為 終日店休
2	3	4	5 カフェ・サクラ saku (13:00~17:30)	6	7	8 ユニバ4開催 day 1 お店は通常営業
9 ユニバ4開催 day 2 お店は通常営業	10	11 30-31のフリップ未定 (20:00~24:00)	12 魁!歴史塾 (19:00~21:00) (店内常駐)	13	14	15 トキヲシメ開催の為 終日店休 皆々送迎代行のト
16	17	18	19 カフェ・サクラ saku (13:00~17:30)	20	21 3月5日(日) (12:00~17:30)	22
23	24	25	26	27	28 大坂+1 (19:00~24:00)	29
30						

Pick Up Event

第14回

SUBパルク

2019年9月8日(日) - 9日(月)



今年も盛り上がりました。9月8日、9日と2日間開催される食の工房の祭典「ユニバ4」。

もちろんフロッシも参加します! 今回はほうろく肉を使った料理と赤ワインを使ったカクテルをご用意予定です。

ぜひお越しの機会をお待ちしております!

前売りチケットも絶賛発売中!!!



FROSCH

フッキーの 我々の街にはレイソルがある!!
第64回 「ついに負けてしまった!」

連勝記録をのばし、このまま負けずに優勝してしまうのではないかと考えてしまうほど勢いが止まらなからたレイソル。
ついに負けてしまった... 相手は山形。
守備の固い山形に、絶対与えてはいけない先制点を奪わず、追加点も含めてセットプレー2発が相手を楽にさせてしまった。
セットプレーからの失点は、以前からの課題でもあったのにあっさり。しかも、山形の木山監督曰く、セットプレーを徹底的に練習してきたそう。何度これでやられてきたのか?!

それでも決めるところを決めれば今のレイソルは勝てたはず。それだけの戦力は揃っている! 集中力を欠いて自滅してしまわないようにここから優勝までのカウントダウンは、選手に落ちついてプレーしてほしい。
(岡田亜紀)

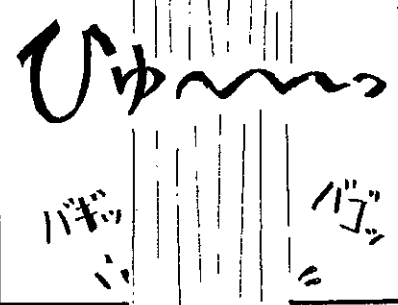
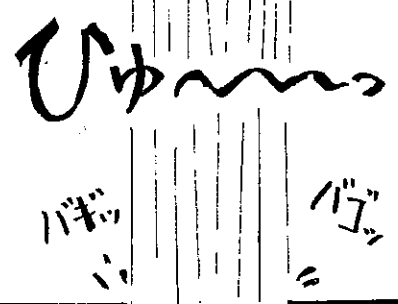
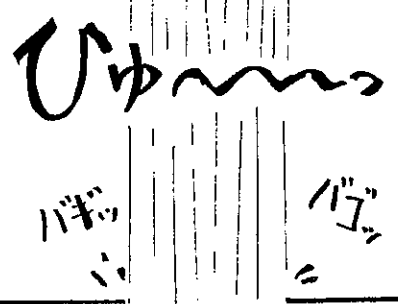
蛙的注目記事



井戸の蛙会議

(連載第七十五回)

内閣改造への批判を、「〇〇内閣」というように面白おかしく例えようとする野党のやり方をナニセンスに感じる。もう何十年とこんなことをやっている。国民へわかりやすく共感を求めようとしているのだらうが、いつもしくりこない台風(号)に農場は破壊された。その惨状に若い社員はやるせない気持ち。持ちや悲壮感、悲観的になりはじめている。しかし、自然な理不尽なものだと日頃から実感する農業者にとってはわりとしくりするものだ。対策しきれなかつた後悔よりも、また作り直すつとめる前向きな気持ちこそ、明日を作るエネルギーになる。そのエネルギーの一つは若さであろう。新しい安倍内閣にとってのエネルギーは見られない。(吉岡龍一)



シンガレックライナー 浅川貴史の 音楽は世界だ! 第28回

とある1曲のCD制作を任されていて、この原稿を書いている今、めっちゃ至境に入っています。実は原稿なんて書いてる場合じゃないっちゃないんですが、それでも書いてらう俺、てかいいですよ。それをこんなとこで書くのってそれ以上にとってもカッコ悪いですよ。てかそもそも時間あるときに書いてはって話でね...

さて、聞きたくないであろうせい自慢と自己反省を書かせて頂いたところで... このCD制作なんですが、レコーディングからミックスダウン、マスタリングなど音源のキモとなる部分を任せておられます。ミックスダウンとは録音したそれぞれの音を整理して一つにする作業で、マスタリングはその一つになった音をさらに整える作業です。ザックリ言うと、しかしこのミックスダウンが大変で、これをしくじるとどんな名曲も台無しにすることがあります。録音されたそれぞれの音を整理して一つにしていく作業は料理を作るのと同じような気がします。

普段何気なく耳にしている曲も、例えばそれがどうしようもないクズみたいな曲だったとしても、プロたちの知識と技術、さらに多くの工程を踏んで出来上がってるワケなんですよ。え...

(浅川貴史)